

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第9号 令和4年11月30日発行



「健康」に生きる

養護教諭 山田 真由実

自分自身が「健康」に生きたい。家族に「健康」でいてほしい。これはきっと誰しもがもつ願いではないでしょうか。

しかしながら、生涯一度も病院に通ったことがないという人はいないと思います。何かしら不調が起きてしまうものです。思いもよらず、病気になってしまうものです。それは仕方のないことかもしれません。でも、だからこそ、できる限り自分で「健康」を守ることはとても大切だと思います。

「健康」を守ることといえば、例えば手洗いや歯みがき、早寝早起き、バランスのとれた食事、適度な運動などが挙げられます。これらの生活習慣は、子供のうちから身につけることで、生涯にわたって役立つ大切なことです。

本校では手洗い指導や歯みがき指導、栄養士による食に関する指導、保健師によるがん教育などを行っています。

また、毎年、健康診断を行っておりますが、健康診断を受けて自分の体の状態を知ったり、病気の早期発見・早期治療に努めたりすることも生涯にわたって大切なことです。

さて、「健康」というと最初に身体的に病気になっていないことを思い浮かべますが、精神的な「健康」も大切です。自分で「健康」を守るという行為は、自分のことを大切に思う気持ちがなければ始まりません。「健康」に生きるということは、自分と周りの人を大切にすることではないでしょうか。

人が生きていく上で何より大切な思いは、「自分が生まれたときに家族はとても嬉しかったのだ」と心の底にもつことだと思っています。何かつらいことがあったとき、自分が生まれたことや生きていることが家族は嬉しいと想像できたら、どんなときも自分を大切に、「健康」に生きていこうとするはずです。

そこで本校では、保護者の皆様に御協力をいただき、児童の誕生日に児童が生まれたときの御家族の思いをメッセージに書いていただき、全校で共有することで、自他を大切に思う気持ちを育む教育に取り組んでいます。

「健康」に生きるための基礎は小学校でつくるものと考えます。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

12月行事予定

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1日(木) 全校集会 | 15日(木) 薬物乱用防止教室(5・6年) |
| 2日(金) クラブ(スポーツ教室) | 16日(金) 児童会 |
| 6日(火) 町研移動美術・書写展(～9日) | 21日(水) Jアラート避難訓練 |
| 7日(水) 不審者対応訓練 | 23日(金) 午前授業(給食なし) |
| 8日(木) 参観日 全体懇談会
給食試食会 | 冬休み前集会 大掃除 |
| 10日(土) 山越読書DAY | 24日(土)～1月12日(木)
冬休み |
| 12日(月) 入れ替え授業(～16日) | 26日(月) meet 朝の会 ICT 家庭学習 |
| 14日(水) 移動図書 | 29日(木) 学校閉庁日(～1月3日) |

担任日記（1・4年）

時計には長い針と短い針があって、1時間に1回重なるんです。1時5分で重なって、2時10分くらいで重なって、3時15分くらいで重なって、長い針が追い抜いたと思ったら、また4時何分かで重なる。1時間に1回重なるようにできているんです。でも、11時台だけは重ならないんです。11時台だけは、短い針が先に逃げ切って、2つの針は重ならないんですよ。次に2つの針が重なるのは、12時。鐘が鳴る時ですね。つまり、【鐘が鳴る前は、うまくいかない時間があるということ】今、みんなも頑張っているけどうまくいかない時ってあると思います。でも大丈夫！時計の針っていうのは必ず重なります！なので、今うまくいかなくても諦めずに努力し続けてください！

先日、子供たちにこのような話をしました。実は…この時計の話は、元お笑い芸人でもあり絵本作家でもあるキングコング 西野亮廣さんの話を引用したものです。私自身この話がとても大好きです。4年生は、「あ！聞いたことある！先生が前話していた！」と言ってくれて、大変嬉しく感じました。1年生にとっては、少し難しい話だったにも関わらずに、真剣に聞いてくれました。子供の時は、うまくいかない事が多いと思います。私もそうでした。しかし、うまくいかない時でも諦めずに努力することが大切です。学校でも、背中を押し続けていきます。ぜひ、お家でも頑張っている時は、たくさん褒めてあげてください。

生きていくための力（5・6年）

家庭科の学習で調理実習を行いました。用具や材料の準備から、野菜を切る、茹でる、炒める調理、そして後片付けまで、前の時間までに計画してきたことを活かして、2人とも手際よく進めることができました。

実は小学校での家庭科の学習は世界ではないところもあるそうです。ALTの先生との会話で「日本の家庭科の学習で行うことが、外国では一人暮らしをする時にやっとやり始める。家庭科の学習は小さいころから生きる力を育てる良い学習ですね。」と言われたこともありました。今回の調理実習では二人とも時間を意識して取り組み、普段の生活で料理をするためにはどのくらいの時間を使えばよいのか、食事の時間までに間に合わせるためには何時に始めればよいのか等も考えながら調理しました。今後、自分で生きていく力を確実に育てていければと思います。



うきうきタイム（特別支援学級）

あおぞら学級の教育課程に自立活動の時間（本校では「うきうき」といっています）が設定されています。これは、一人一人の実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取組を促す教育活動です。例えば、縄跳びの縄結びを練習したり、決められた作業課題（アイロンビーズなど）に取り組むことで、情緒の安定や手指の操作性を高めたり、決められた指示に従ったりする力を育成します。苦手な運動を自立の時間に練習して補うこともあります。さらに、善悪の判断や相手とのコミュニケーションの取り方など、取組は多岐に渡ります。

このように自立活動は、様々な教科と密接に関わり、お子さん一人一人の実態や課題に合わせて取り組むものになっています。「今、この子にはどんな力が身につくといいのかな。」と、教師自身も本人や保護者と共に考えながら、自立活動を進めていきたいと思っています。



22日（火）に町の読書感想文コンクールの表彰式が行われ、容雄くん（最優秀賞）となゆたさん（優秀賞）が表彰されました。



乗り入れ授業で、野田生中学校の佐々木教諭が、6年生の国語の授業を3回行いました。約3か月後に迫ってきた中学校での授業を、楽しみしている様子でした。